

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202005860189Q2	科目番号 / Course code	05860189
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12321_006		
授業科目名 / Course title	B10教育心理 / Educational Psychology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymaehara nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部212号室		
担当教員TEL/Tel	2386 (内線)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜5校時 (第3Q) / 金曜2校時 (第4Q)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教員による基礎的内容の講義をベースに, 教育心理学のさまざまな重要テーマを自分たちで調べて発表するグループ学習を取り入れたアクティブラーニング形式で授業を展開する。授業内容の理解を深めるために, 授業中に小課題に取り組んでもらうこともある。		
授業到達目標/Course goals	人間の記憶と学習のメカニズム, および乳児期から青年期にかけての各発達段階における心理社会的特徴に関する基礎的な知識から最新の研究知見までを学び, それらを教育現場における子どもの学習指導や生活指導に活用するための具体的方策を考える能力の修得を目標とする。(対応する全学DP: 専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の課題への取り組み (60点) + グループ活動と発表 (20点) + 最終レポート (20点) = 計100点のうち, 60点以上を合格とする。ただし, グループ活動と発表に関しては, 極めて優れていると判断される場合は, 20点を超える点数を与えることもある。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	【発表準備】グループで調べ学習に取り組み, パワーポイントによる発表を行ってもらうため, 相 当な準備時間を必要とする (合計20時間)。 【事前学習】学習発表のパワーポイント資料をPDF形式でLACSにアップしておくので, それを授業ま でに読んで理解したり, わからないことを調べたりする (1.5時間×20テーマ)。 【事後学習】授業後の復習と学習の定着のために, 各テーマの発表を聞いた後に自分でインターネ ットを調べたり, 本を読んだりする (1.5時間×20テーマ)。 【課題準備】すべての発表テーマを聞いた後で, 自分が最も興味を持ったテーマを1つ選び, レポー トを作成するためにその内容について深く掘り下げて調べる (合計20時間)。		
キーワード/Keywords	心理学, 教育, 発達, 学習, 記憶, 認知		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に指定しない。心理学や教育学に関する自分の興味のあるテーマの本を積極的に読んで ほしい。 <参考書> 子安増生・楠見孝・齊藤智・野村理朗 (編) (2016). 教育認知心理学の展望. ナカニシヤ出版.		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	多くの先進国では物やサービスが溢れ、生活を便利にする新しい技術が日々生み出されています。一方で地球上には、戦争、貧困、偏見と差別、環境破壊、異常気象の多発といった困難な問題も依然として存在し続けています。人間の生活にとって善いことも悪いことも、そのほとんどが人間の心から生み出されたものです。「制度を整えれば大丈夫」とか「方法をしっかり考えれば大丈夫」といっても、その制度や方法でさえ人間の心が考え出したものです。心理学を学ぶ中で、「何事も人の心に立ち返って考える」という当たり前の姿勢を身につけてほしいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業ガイダンス（授業概要の説明 / 調べ学習のテーマ紹介 / グループ分けとテーマ選択）
第2回	教育心理学の考え方（教育心理学は何のための学問か / 教育心理学の源流 / 教育心理学の関連分野）
第3回	発達の視点の重要性（発達を学ぶ意義 / さまざまな発達理論 / 遺伝と環境の相互作用）
第4回	乳児期の発達（乳児の心の知覚 / 視線の理解 / 母子間アタッチメント）
第5回	幼児期の発達（言語発達 / 知的発達と素朴理論 / 心の理論）
第6回	児童期の発達（児童期の思考の発達と特徴 / 10歳の壁 / 道徳的判断の多様化）
第7回	青年期の発達（第二次性徴 / 思春期の脳機能の特徴 / 思春期のリスク行動? 飲酒と喫煙）
第8回	学習と記憶（さまざまな学習理論 / 短期記憶と長期記憶 / 記憶の定着を促す学習法）
第9回	ワーキングメモリ（ワーキングメモリとは / ワーキングメモリ容量 / 学力や知能との関係）
第10回	実行機能（実行機能とは / 実行機能の発達 / 学力や社会的能力との関係）
第11回	動機づけ（外発的動機づけと内発的動機づけ / 自己決定理論 / 達成目標理論）
第12回	仲間関係と学級集団づくり（共感性と向社会的行動の発達 / 仲間関係と学業達成 / 協同学習）
第13回	パーソナリティと自己認知（人格形成の要因 / 5因子性格論 / さまざまな自己感）
第14回	教育評価（評価の分類 / さまざまなデータ収集方法 / 教育目標と評価の関係）
第15回	発達障害（学習障害 / ADHD / 自閉症スペクトラム障害）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202005860193Q2	科目番号 / Course code	05860193
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12331_006		
授業科目名 / Course title	B10教育行政・制度論 / Educational System and Administration		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 池田 浩 / Ikeda Ko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 池田 浩 / Ikeda Ko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00-17:00) 火曜日(13:00-17:00) 木曜日(13:00-17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業は近年の社会状況と教育政策の動向を踏まえながら、教育にまつわる問題を考察し、実際の教育現場において生徒に対するどのような教育や支援を行えばよいかをともに検討していく。また、戦後から今日までの日本の教育行政及び制度が社会的な背景と共にどのように変遷したかを学習するとともに、現在、国が打ち出している様々な教育施策が、学校現場でどのように展開されているのかを理解する。</p> <p>さらに、学校内外で想定される事件、事故、災害等に対し、安全管理及び安全教育の視点からどのように子供たちの心と命を守るかを具体的な事案を通して考察する。また、次代を生きる子どもたちに求められる資質・能力を育むために学校と家庭、地域社会等との連携・協働の取り組みを実践例をもとに考える。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>?@学校と社会のつながりや学校を取り巻く様々な課題を理解することができる。</p> <p>?Aキャリア教育を念頭にいた指導上の課題及び問題を抱えている生徒に対する指導上の課題を理解することができる。</p> <p>?B近年の教育政策（特にキャリア教育、全国学力・学習状況調査等）の動向を理解している。</p> <p>?C日本の公教育の原理および理念を理解し、説明できる。</p> <p>?D戦後からこれまでの教育関係法規の変遷を理解し、説明できる。</p> <p>?E現在の教育制度を支える教育行政理念と仕組みを理解し、説明できる。</p> <p>?F子どもたちの心と命を守るため学校、関係機関等が連携・協働し取り組む重要性について理解する。</p> <p>?G社会に開かれた学校教育の必要性と具体的な取組について理解する。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>(中島担当) 毎回の授業後に提出する課題 (100%)</p> <p>(中川担当) 授業及び協議への参画態度 (10%), レポート (90%)</p> <p>(池田担当) 演習成果資料・レポート (90%), 授業及び協議への参画態度 (10%)</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・基本的に講義式の形態をとりながら、グループで議論する時間を取ります。 ・事前に調べたり、まとめてレポートにする課題を与えます。
キーワード/Keywords	過去と現在の教育行政を知る。
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。毎回の授業で資料を配布する。 参考書・参考資料等 学習指導要領（文部科学省）、長崎県振興計画、「危機管理マニュアル」（長崎県教育委員会）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	15回の講義に毎回、出席すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	共に教育行政について学びを深めましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中川幸久：高等学校（教頭・校長）県教育委員会（教育次長）人事管理・教育行政 池田 浩：小学校（教頭・校長）県教育委員会（教育次長）人事管理・教育行政
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	学校とは何か：学校と社会のつながり（担当：中島）
第2回	昭和（戦後）からの教育関係法規の変遷と社会的背景（担当：中川）
第3回	学力・意欲の格差（担当：中島）
第4回	昭和（戦後）からの学習指導要領の変遷と社会的背景（担当：中川）
第5回	社会階層・ジェンダーと進路選択（担当：中島）
第6回	教育基本法と教育三法の改正とその理念（担当：中川）
第7回	教育の課題 教育の公共性と私事化(担当：中島)
第8回	教育再生実行会議の提言と教育改革（第一次から第十次提言）（担当：中川）
第9回	教育の課題?A 学校外・地域外での関係性の構築（担当：中島）
第10回	教育再生実行会議の提言と教育改革（第一次から第十次提言）（担当：中川）
第11回	学校における危機管理（子どもの命を守る）（担当：池田）
第12回	学校における危機管理（子どもの心を守る）（担当：池田）
第13回	学校、関係機関が連携した危機管理対応（要対協，チーム学校）（担当：池田）
第14回	学校、家庭、地域社会の連携（社会に開かれた教育課程）（担当：池田）
第15回	社会に開かれた学校教育（コミュニティースクール）（担当：池田）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586019402	科目番号 / Course code	05860194
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12331_006		
授業科目名 / Course title	B10教育社会・制度論 / Educational System and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 池田 浩 / Ikeda Ko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 池田 浩 / Ikeda Ko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00-17:00) 火曜日(13:00-17:00) 木曜日(13:00-17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業は近年の社会状況と教育政策の動向を踏まえながら、教育にまつわる問題を考察し、実際の教育現場において生徒に対するどのような教育や支援を行えばよいかをともに検討していく。また、戦後から今日までの日本の教育行政及び制度が社会的な背景と共にどのように変遷したかを学習するとともに、現在、国が打ち出している様々な教育施策が、学校現場でどのように展開されているのかを理解する。</p> <p>さらに、学校内外で想定される事件、事故、災害等に対し、安全管理及び安全教育の視点からどのように子供たちの心と命を守るかを具体的な事案を通して考察する。また、次代を生きる子どもたちに求められる資質・能力を育むために学校と家庭、地域社会等との連携・協働の取り組みを実践例をもとに考える。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>学校と社会のつながりや学校を取り巻く様々な課題を理解することができる。</p> <p>Aキャリア教育を念頭においた指導上の課題及び問題を抱えている生徒に対する指導上の課題を理解することができる。</p> <p>B近年の教育政策(特にキャリア教育、全国学力・学習状況調査等)の動向を理解している。</p> <p>C日本の公教育の原理および理念を理解し、説明できる。</p> <p>D戦後からこれまでの教育関係法規の変遷を理解し、説明できる。</p> <p>E現在の教育制度を支える教育行政理念と仕組みを理解し、説明できる。</p> <p>F子どもの心と命を守るため学校、関係機関等が連携・協働し取り組む重要性について理解する。</p> <p>G社会に開かれた学校教育の必要性と具体的な取組について理解する。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>(中島担当分) 毎回の授業後に提出する課題(100%)</p> <p>(中川担当分) 授業及び協議への参画態度(10%), レポート(90%)</p> <p>(池田担当分) 演習成果資料・レポート(90%), 授業及び協議への参画態度(10%)</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・基本的に講義式の形態をとりながら、グループで議論する時間を取ります。 ・事前に調べたり、まとめてレポートにする課題を与えます。(4h)
キーワード/Keywords	過去と現在の教育行政を知る。
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。毎回の授業で資料を配布する。 参考書・参考資料等 学習指導要領(文部科学省), 長崎県振興計画, 「危機管理マニュアル」(長崎県教育委員会)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	15回の講義に毎回、出席すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	共に教育行政について学びを深めましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	中川幸久: 高等学校(教頭・校長) 県教育委員会(教育次長) 人事管理・教育行政 池田 浩: 小学校(教頭・校長) 県教育委員会(教育次長) 人事管理・教育行政
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	学校とは何か: 学校と社会のつながり(担当: 中島)
第2回	昭和(戦後)からの教育関係法規の変遷と社会的背景(担当: 中川)
第3回	学力・意欲の格差(担当: 中島)
第4回	昭和(戦後)からの学習指導要領の変遷と社会的背景(担当: 中川)
第5回	社会階層・ジェンダーと進路選択(担当: 中島)
第6回	教育基本法と教育三法の改正とその理念(担当: 中川)
第7回	教育の課題 教育の公共性と私事化(担当: 中島)
第8回	教育再生実行会議の提言と教育改革(第一次から第十次提言)(担当: 中川)
第9回	教育の課題?A 学校外・地域外での関係性の構築(担当: 中島)
第10回	教育再生実行会議の提言と教育改革(第一次から第十次提言)(担当: 中川)
第11回	学校における危機管理 (子どもの命を守る)(担当: 池田)
第12回	学校における危機管理 (子どもの心を守る)(担当: 池田)
第13回	学校, 関係機関が連携した危機管理対応(要対協, チーム学校)(担当: 池田)
第14回	学校, 家庭, 地域社会の連携(社会に開かれた教育課程)(担当: 池田)
第15回	社会に開かれた学校教育(コミュニティースクール)(担当: 池田)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586030902	科目番号 / Course code	05860309
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12311_006		
授業科目名 / Course title	B10教育原理(教育課程の意義及び編成の方法の内容を含む。) / Principle of Education (Including the Meaning and Formation of Curriculum)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山岸 利次		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山岸 利次		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山岸 利次		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	Eメールアドレス。 t-yamagishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教育学部219研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問や面談のポイントはEメールにて行ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業は2つの目的を持ちます。第1に、「教育学」の初学者にこの学問の特徴をつかんでもらうこと です。第2に本授業は教員免許状の取得を目指す学生に「教育理念」「教育史」「教育思想」そし て「教育課程」について教職員に必須の内容を理解してもらうことです。学問の意義の核心は日ご る私たちが見聞きする現実をいかに分析するかにあります。本授業は「教育理念」「教育史」「教 育思想」そして「教育課程」の観点から、教育学がいかにして事実を分析するか、そのことにつ いて受講生と考えていくものです。		
授業到達目標/Course goals	1 現代日本の教育を規定している教育理念を説明できる。 2 現代の教育の在り方を規定している教育思想について説明できる。 3 現代の教育の在り方を規定している教育史的事実について説明できる。 4 現代日本の学校教育の教育課程の特徴を説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題(20点×2回)+学期末試験(60点)=合計100点のうち、60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: あらかじめレジユメを配布しますので、レジユメを読み、わからない用語等につき調べてお いてください(2h)。 復習: レジユメを熟読し、講義の内容を振り返ってください(2h)。		
キーワード/Keywords	教育理念、教育思想、教育史、教育課程		
教科書・教材・参考書/Materials	子どもの権利条約市民・NGOの会『国連子どもの権利条約と日本の子ども期-第4・5回最終所見を 読み解く』(本の泉社、2020年)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	日本の教育は現在進行形で変わりつつあります。新聞やTV、インターネット等で教育関係の報道をしっかりとキャッチしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1・2回	イントロダクション
第3・4回	学習指導要領と教育課程
第5・6回	現代日本の教育課題とその対策－「いじめ」を例として
第7・8回	教育(education)の語源学
第9・10回	公教育の思想と制度
第11・12回	明治以降の教育史の展開
第13・14回	「子どもの権利」思想と教育
第15回	まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586031102	科目番号 / Course code	05860311
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15241_005		
授業科目名 / Course title	B10教育心理学 / Educational Psychology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymaehara nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部212号室		
担当教員TEL/Tel	2386 (内線)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜5校時 (第3Q) / 金曜2校時 (第4Q)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教員による基礎的内容の講義をベースに, 教育心理学のさまざまな重要テーマを自分たちで調べて発表するグループ学習を取り入れたアクティブラーニング形式で授業を展開する。授業内容の理解を深めるために, 授業中に小課題に取り組んでもらうこともある。		
授業到達目標/Course goals	人間の記憶と学習のメカニズム, および乳児期から青年期にかけての各発達段階における心理社会的特徴に関する基礎的な知識から最新の研究知見までを学び, それらを教育現場における子どもの学習指導や生活指導に活用するための具体的方策を考える能力の修得を目標とする。(対応する全学DP: 専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の課題への取り組み (60点) + グループ活動と発表 (20点) + 最終レポート (20点) = 計100点のうち, 60点以上を合格とする。ただし, グループ活動と発表に関しては, 極めて優れていると判断される場合は, 20点を超える点数を与えることもある。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	【発表準備】グループで調べ学習に取り組み, パワーポイントによる発表を行ってもらうため, 相 当な準備時間を必要とする (合計20時間)。 【事前学習】学習発表のパワーポイント資料をPDF形式でLACSにアップしておくので, それを授業ま でに読んで理解したり, わからないことを調べたりする (1.5時間×20テーマ)。 【事後学習】授業後の復習と学習の定着のために, 各テーマの発表を聞いた後に自分でインターネ ットを調べたり, 本を読んだりする (1.5時間×20テーマ)。 【課題準備】すべての発表テーマを聞いた後で, 自分が最も興味を持ったテーマを1つ選び, レポー トを作成するためにその内容について深く掘り下げて調べる (合計20時間)。		
キーワード/Keywords	心理学, 教育, 発達, 学習, 記憶, 認知		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に指定しない。心理学や教育学に関する自分の興味のあるテーマの本を積極的に読んで ほしい。 <参考書> 子安増生・楠見孝・齊藤智・野村理朗 (編) (2016). 教育認知心理学の展望. ナカニシヤ出版.		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	多くの先進国では物やサービスが溢れ、生活を便利にする新しい技術が日々生み出されています。一方で地球上には、戦争、貧困、偏見と差別、環境破壊、異常気象の多発といった困難な問題も依然として存在し続けています。人間の生活にとって善いことも悪いことも、そのほとんどが人間の心から生み出されたものです。「制度を整えれば大丈夫」とか「方法をしっかり考えれば大丈夫」といっても、その制度や方法でさえ人間の心が考え出したものです。心理学を学ぶ中で、「何事も人の心に立ち返って考える」という当たり前の姿勢を身につけてほしいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業ガイダンス（授業概要の説明 / 調べ学習のテーマ紹介 / グループ分けとテーマ選択）
第2回	教育心理学の考え方（教育心理学は何のための学問か / 教育心理学の源流 / 教育心理学の関連分野）
第3回	発達の視点の重要性（発達を学ぶ意義 / さまざまな発達理論 / 遺伝と環境の相互作用）
第4回	乳児期の発達（乳児の心の知覚 / 視線の理解 / 母子間アタッチメント）
第5回	幼児期の発達（言語発達 / 知的発達と素朴理論 / 心の理論）
第6回	児童期の発達（児童期の思考の発達と特徴 / 10歳の壁 / 道徳的判断の多様化）
第7回	青年期の発達（第二性徴 / 思春期の脳機能の特徴 / 思春期のリスク行動? 飲酒と喫煙）
第8回	学習と記憶（さまざまな学習理論 / 短期記憶と長期記憶 / 記憶の定着を促す学習法）
第9回	ワーキングメモリ（ワーキングメモリとは / ワーキングメモリ容量 / 学力や知能との関係）
第10回	実行機能（実行機能とは / 実行機能の発達 / 学力や社会的能力との関係）
第11回	動機づけ（外発的動機づけと内発的動機づけ / 自己決定理論 / 達成目標理論）
第12回	仲間関係と学級集団づくり（共感性と向社会的行動の発達 / 仲間関係と学業達成 / 協同学習）
第13回	パーソナリティと自己認知（人格形成の要因 / 5因子性格論 / さまざまな自己感）
第14回	教育評価（評価の分類 / さまざまなデータ収集方法 / 教育目標と評価の関係）
第15回	発達障害（学習障害 / ADHD / 自閉症スペクトラム障害）